

## 新

春を迎え、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。日頃から、皆さまにおかれましては町政執行に対しまして、深いご理解と格別のご支援・協力を賜り厚くお礼申し上げます。

コロナ禍において、当たり前の日常が大きく制限され、町民の皆さまにおかれましては、生活のさまざまな場面に不便や不安を感じていることと思います。

新型コロナウイルス感染症の拡大は、未だ予断を許さない状況ではありますが、ワクチン接種等のコロナ克服に向けた歩みは、日々着実に進んでおり、国内では延期となっていた「東京オリンピック・パラリンピック」が開催され、本町においても、一昨年開催を見送りました「しずな桜まつり」を徹底した感染症対策を講じた中で、二年ぶりに開催し、多くの観客客を迎えることができました。

JR日高線の一部廃線に伴い、地域の公共交通を確立するため、通学や通院、買い物

など、日常生活での利便性の向上を図ることを目的とした「日高地域公共交通バス」の運行が開始されました。新たな路線が地域の皆さまに愛されるよう、育てていきたいと考えておりますので、積極的な利用をお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響はこれからも続くものと思いますが、この危機的状況を皆さまと力を合わせて乗り越え、再び活気を取り戻し、より豊かで明るい新ひだか町を築いていけるよう、健康と安全を第一に考えながら全力でまちづくりに取り組み、皆さまが希望に満ちた年となることを心からご祈念申し上げます。



新ひだか町長

大野克之

## 新

年あけましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、令和4年の輝かしい新年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症が「デルタ株」や「オミクロン株」に変異したことなどにより、多くの人の生命・健康への脅威と経済活動に影響が生じました。また、昨年10月の赤潮の発生により、ウニ、ツブ、サケなどの海産物に深刻な打撃となっていることから、議会といたしまして、町と協議し、可能な限り各種支援に取り組みたいと考えています。

議会活動では、議会改革に係る取り組みとして、昨年は、オンライン会議システム・ペーパーレス会議システムの導入などに取り組みました。本年2月には、15日に総合市民センター、16日にピュアプラザで2年ぶりに議会報告会を開催する予定です。詳しく

くは、1月25日発行の「議会だより第60号」でお知らせいたします。

なお、早稲田大学マニフェスト研究会の議会改革度ランキングでは、北海道の市町村6位にランクインしました。今後もより一層の議会改革を進めていく所存であります。

本年は、町長及び町議会議員選挙が4月12日告示、17日投開票となっておりますが、新ひだか町議会は50歳代以下の議員がおりません。議員の「なり手不足」ということが全国的に言われておりますが、若い皆さんが議員に立候補されることを期待いたします。

結びになりますが、町民皆さまのご健勝とご多幸をお祈りいたしまして、年頭のごあいさつといたします。



新ひだか町議会議長

福嶋尚人